

## 令和5年度 STEAM 特別講座

「データベースで政策提言しよう（地域デザイン）」

担当教員 新友一郎・岩本剛志（地理歴史・公民科）

受講生徒 7人（1年3人、2年4人）

使用教室 選択3E教室

### 目標

- ・ RESAS 等のツールを活用することで、ビッグデータを分析して課題発見ができる
- ・ 複数の課題の中から、より適切な課題に絞り込むスキルを身につけることができる
- ・ 自治体等が実践している施策と比較しながら、自らの取り組むべき課題を考えることができる
- ・ 課題ブラッシュアップさせ、解決するための道筋を考えることができる
- ・ 講座後の任意の活動を含めると、定量的データ（RESAS などビッグデータ）と定性的データ（フィールドワークやインタビュー調査）を組み合わせ、社会の一員として実現したい価値や理想の姿を描き、情熱をもって周囲に伝え、実現する力を育成する

### 1. 単元計画

|               | 日程        | 内容  |
|---------------|-----------|---|
| DAY 1         | 7月20日     | RESAS の使い方の説明・体験                                      |
| DAY 2         | 7月27日     | 加古川市の取り組みと比較しながら課題の絞り込み                               |
| 発表            | 8月1日      | STEAM デー  |
| 発表後<br>(任意参加) | 8月<br>～9月 | フィールドワーク、市役所等でのインタビュー、<br>地方創生☆政策アイデアコンテストの資料作成（9月末頃） |
| (任意参加)        | 9月以降      | コンテスト挑戦、市などで発表（機会があれば）                                |

## 2. 各回の内容

### DAY 1 : RESAS の使い方の説明・体験

- ・ 単元目標の提示
- ・ RESAS でできること、基本的な使い方を説明
- ・ 班員のアイスブレイク、班分け（1 班 3～5 人程度）
- ・ 生徒が PC で RESAS を開き、各自が見つけた面白いデータを発表（班に一人程度）
- ・ 人口規模の似ている 3 市（例：加古川市・明石市・宝塚市を比較し、加古川市の課題発見）

※時間が足りない場合は、班ごとに次回までに作成

|     | 時間   | 内容  |
|-----|------|---|
| 5   | 5 分  | 本講座の目的、本日の目標を説明、班分け（できるだけ学年・学科を混ぜる）   |
| 25  | 20 分 | RESAS の使い方を説明（分かりやすい項目を説明） <ul style="list-style-type: none"><li>・ 人口マップ→人口構成→表示レベル「市町村単位で表示する」（在住地域）<br/>→「人口推移」で年齢層別の人口推移がグラフ化<br/>→「人口ピラミッド」で人口ピラミッドを簡単に表示</li><li>・ 観光マップ→目的地分析<br/>→「目的地ランキングを表示」※年、日、交通手段を変更できる<br/>→目的地の「出発地を表示」</li><li>・ V-RESAS<br/>→都道府県単位で、より詳細なデータが表示される</li></ul> |
| 55  | 30 分 | RESAS で面白いデータを見つける<br>各自が見つけた面白いデータを班内で発表<br>→班ごとに全体発表  |
| 115 | 60 分 | 人口規模の似ている 3 市を比較し、対象自治体の課題発見<br>（例：加古川市・明石市・宝塚市を比較し、加古川市の課題発見）<br>※人口、観光、医療、産業構造、雇用、特産品などから 3 項目以上<br>RESAS で表したグラフ等を切り取って、各自の Powerpoint ファイルに貼りつける<br>→比較して考察できることを記載   |
| 120 | 5 分  | 次回の説明   |

DAY 2 : 市の取り組みと比較しながら課題の絞り込み

- ・前回の課題をまとめて発表（ワールドカフェ方式）
- ・自ら見つけた課題と、実際の各自治体の施策とを比較し、取り組むべき課題を絞り込み
- ・ピラミッドチャートで絞り込んだ課題を発表

|     | 時間  | 内容   |
|-----|-----|--|
| 5   | 5分  | 本日の目標を説明   |
| 25  | 20分 | 前回の課題である各班の3市比較・分析結果を発表<br>(ワールドカフェ方式)   |
| 85  | 60分 | ピラミッドチャートを用いて、課題の絞り込み<br>→各自が付箋に課題を思いつく限り書き込む（ブレインストーミング）<br>→各自が下段に貼りながら説明<br>→似ているものをまとめてグループ化<br>→下段の中から、良いものを中段に上げる（意義や実現可能性をもとに）<br>→中段の中から、取り組む課題（テーマ）を1つ上段に上げる<br>→決まったテーマについて全体発表・協議 |
| 115 | 30分 | テーマについて、該当自治体の現状を調べる<br>→課題の改善策について考えて発表資料を作成  |
| 120 | 5分  | STEAMデーでの発表について説明  |

発表：STEAMデー

- ・課題・アイデアを発表
- ・質疑応答で他者の意見を聞いてブラッシュアップ